

平成19年度 崇化館地域会議（臨時） 会議録

- 日時 平成19年7月24日（火）午後7時00分～9時00分
- 場所 崇化館交流館 4階 第2会議室
- 出席者 〈委員〉高橋 通郎（会長） 〈事務局〉中野 正則（自治振興課課長）
三宅 芳夫 松井 克仁（自治振興課係長）
新見 鏞一 新見 徹（自治振興課主査）
中込 一義
平岩 良二 〈欠席者〉岩月 修一
大橋 博 中川 和子
太田 眞由美 上左近 幸治
鈴木 令子
前田 實
本多 勝幸
竹内 一良

〈傍聴者〉 なし

- 次第 1 第7次総合計画 地域会議からの意見についての回答
2 地域課題の決定について

■ 議事

1 第7次総合計画 地域会議からの意見についての回答

自治振興課長より、豊田市第7次総合計画に関して崇化館地域会議からいただいた意見への回答（企画課作成）について資料をもとに説明。

併せて7月30日（月）午後7時に開催される「市長と語るまちづくり懇談会」への参加を依頼した。

2 地域課題の決定について

これまでの会議において、崇化館地域における地域課題を多数出していただいたが、この中から崇化館地域会議として取り組むべき課題を一つ決めていただくように事務局から依頼。

また、その課題について地域で取組めること、市と地域と共働で取組めること、市が取り組むべきことに分類して提言書を作成する方法を提示。参考に事務局で作成した「安全・安心のある街づくり」についての資料を例示した。

〈取り組むべき課題について各委員の意見〉

- ・ 安全・安心については、崇化館全体で取り組むことができる課題であると思う。
- ・ 街の賑わいについて取組みたい。最近のイベントは、安全なもの（失敗しないもの・人が呼

べるもの)ばかりである。わくわく事業で学生演劇に補助金を出してイベントを開催するなど、新しい取組みをするのはどうか。拳母神社の境内は、興行には好都合の場所なのでそういった場所を利用して人を集めることもできると思う。

- ・ 自転車は本来車道を走るべきだが、現実的には歩道を走るので歩行者には大変危険である。段差が多いとか、歩道が狭いとかそういった危険についても安全・安心で取組めるのではないかな。
- ・ 親が楽しめるイベントをやれば、子供も楽しめるのではないかな。そういったイベントを行うことで街に人が集まると思う。
- ・ 私の自治区では、国の補助で防犯カメラを町内に設置して防犯に取り組んでいる。同じような取組みを他の自治区にも拡げていけないのではないかな。
- ・ 天王祭や盆踊りなどがあれば、自然と人は集まってくる。イベントをもっと開催して街を賑やかにしたい。
- ・ 安全・安心に取り組むのであれば、登下校の際に「こども見守り隊」を実施することで子供の安全にも取り組んだらどうか。老人クラブの人達に登下校の時間に家の前で子供を見守ってもらうこともできると思う。
- ・ 北街区の早期の開発が、街の賑わいには必要である。

上記のように、「賑わいのある街づくり」と「安全・安心のある街づくり」の二つの課題を中心に議論されたが、協議の結果、今回は「安全・安心のある街づくり」を地域の取組みとすることを地域会議として決定した。

<安全・安心のある街づくりについての意見>

- ・ 課題として、街が暗いというのがあるが、目標に明るいという言葉が入っていないので、明るい街というのをも目標に加えたらどうか。
- ・ 地区内で犯罪が多いものに自転車盗難がある。対策として、利用者に2ロックを呼びかけることもひとつの方法である。また防犯登録をしていない自転車が狙われやすいとも聞くので防犯登録を促す啓発活動も必要であると思う。
- ・ 子供の安全のために「こども110番」をもっとPRしていきたい。
- ・ 米国のジョージ・ケリング博士の提唱した「割れ窓理論」によると、きれいな街は犯罪が少ないとのことである。環境美化活動によって犯罪をなくすというもの地域で取組める一つの手法ではないかな。
- ・ 行政の協力として市だけでなく、警察にも協力してもらい取り組んでいくべきである。例えば防犯パトロールを一緒に行ってもらえることもできるのではないかな。
- ・ 暗い駐車場など犯罪発生の可能性のある場所には、回転灯を設置するのはどうか。
- ・ 地域内には、道路標識が老朽化し、塗料がはがれて見にくくなっているものがある。そうした標識は取替えてもらわないといけない。

今回の地域会議で取組む課題が決定したので、地区区長会・コミュニティー会議など地域の組織に説明をし、意見をうかがいながら、共働で行える活動を考えていく。

(終 了)